

令和5年度

事業報告書

特定非営利活動法人トイミッケ

1 事業の成果

2023年4月1日から2024年3月30日までの当法人の事業は、前期までシステム協力として参画していた「せかいびパーク」プログラムの事業主体となり、本事業へ注力。市民の力とICTの活用をもって緊急支援網を実質的を東京・埼玉でさらに拡大し、支援対応をおこなった。また不安定居住層へのレンタルスペースを使ったアウトリーチ「夜のセーブポイント」も月2回実施し、前述のプログラムと合わせ、都市の中で移動する不安定居住層の掘り起こしに成功した。

通信インフラ支援事業については、他団体と連携するかたちでの相談会へのFreeWi-Fi提供を継続。また、電話を失っている方が民間・公的の相談窓口インターネット経由で通話ができる「ボイチャ相談」も引き続き継続。全国規模の定期電話相談会へのシステム提供もおこなった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【1,727,968】円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費
生活困窮者のための通信インフラ支援事業	都内で屋外相談会を定期実施している支援団体と連携し、相談会場にてFreeWi-Fiの提供及び充電施設の提供。	毎月2回（直接スタッフが展開をおこなう形での実施の場合）	池袋（直接スタッフが展開をおこなう形での実施）	3名（専従スタッフおよび主だったボランティアとして年間を通して従事した人数）	相談会に来られ、沢かな通信インフラなどから疎外されている方	Wi-Fi利用者（推計）の30人。充電は120人以上の利用。	100,000
	電話番号を失った方が相談機関や支援団体でFreeWi-Fi等で通話出来る「ボイチャ相談」の、支援団体および相談会への提供。	支援団体への提供は随時。相談会へはその実施日。	支援団体サイトおよび相談会サイト		相談相談したい環境が乏しい方	支援団体3団体。相談は16年4回実施。	100,000
支援につながりにくい方に向けたアウトリーチ事業	主にネットルームや個室ビデオ店を生活拠点にしながら非正規労働で生計を維持されている方を対象に「夜のセーブポイント」として相談窓口を設置。レンタルスペースを活用しての夜間拠点を定期開催する他、インターネット経由での相談支援対応を複数の支援団体と連携し実施。	拠点は第一・第三土曜日。ウェブの相談窓口は随時	池袋・新宿・秋葉原など	3名（専従スタッフおよび主だったボランティアとして年間を通して従事した人数）	不安定な生活している方	のべ30人（ネットカフェ等食料宅をむ）	763,984
	「緊急支援パッケージ」と「受付用WEBアプリ」を開発し、それを一般市民の商店等に設置、そこに駆け込めばパッケージが受け取れ1泊の緊急支援と後日の継続支援が対応出来る「せかいびパーク」プログラムを実施。	随時	東京・埼玉にて53カ所		不安定な職業に生活している方	190人	763,984